

北郷親栄第一町内会 地区防災計画

平成30年2月

■改定履歴

版	改定年月日	主な改定内容
初版	平成 30 年 2 月 日	策 定

《目次》

1 計画の対象地区(範囲)

2 基本的な考え方 (1) 基本方針

(2) 活動目標

(3) 活動計画

3 地区の特性 (1) 地震

(2) 水害

4 防災活動の内容 (1) 班編成と役割

(2) 備蓄品・非常持出品

(3) 避難所

(4) 防災マップ

5 今後の活動

1 計画の対象地区（範囲）

この計画の範囲は「北郷親栄第一町内会（札幌市白石区）」とします。

北郷1～4条1丁目及び菊水元町1条5丁目全域、菊水元町2条5丁目1番（1号、16～29号）・4番（1～14号、25号）・5番・6番・7番、菊水元町3条5丁目4番（1号、39～50号）、菊水元町1条4丁目4番（21、22号）

※町内会会則より引用。

2 基本的な考え方

（1）基本方針（目的）

町内会地域住民の自主的な防災活動の意識向上を図り、地震・風水害・火災その他の災害が発生した時の被害を最小限にとどめること（減災）を目的とし、特に災害時要配慮者支援活動に関する組織を整備する。

（2）活動目標

〈防災意識の向上〉

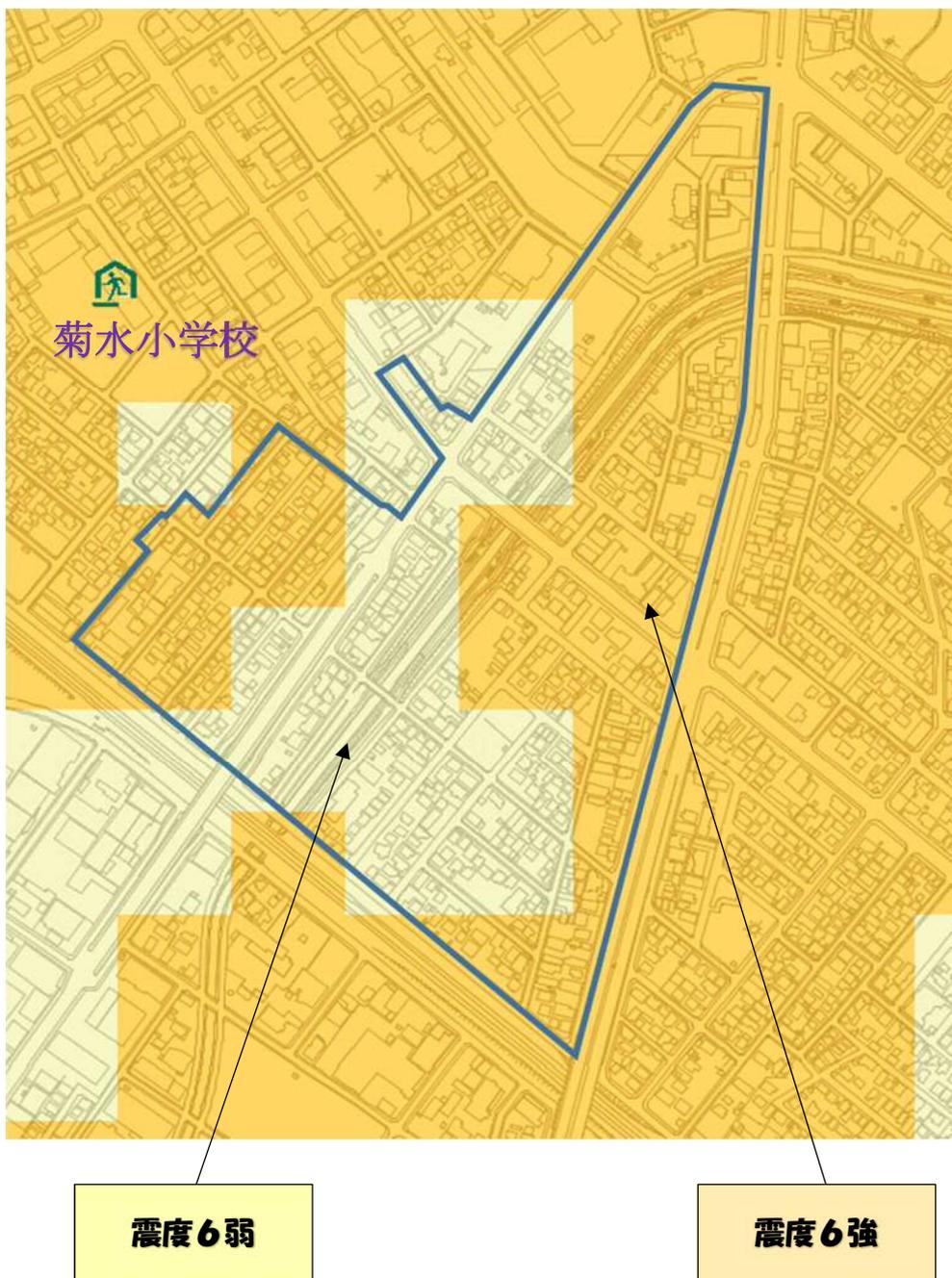
- ① 防災訓練（各家庭における防災意識向上のため）
- ② 防災マップの見直し
- ③ 災害時要配慮者名簿作成及び防災サポーター養成
- ④ 災害時の避難所運営マニュアル作成準備

3 地区の特性

(1) 地震

■札幌市で震度7の地震が発生した場合の想定震度

震度6弱～6強



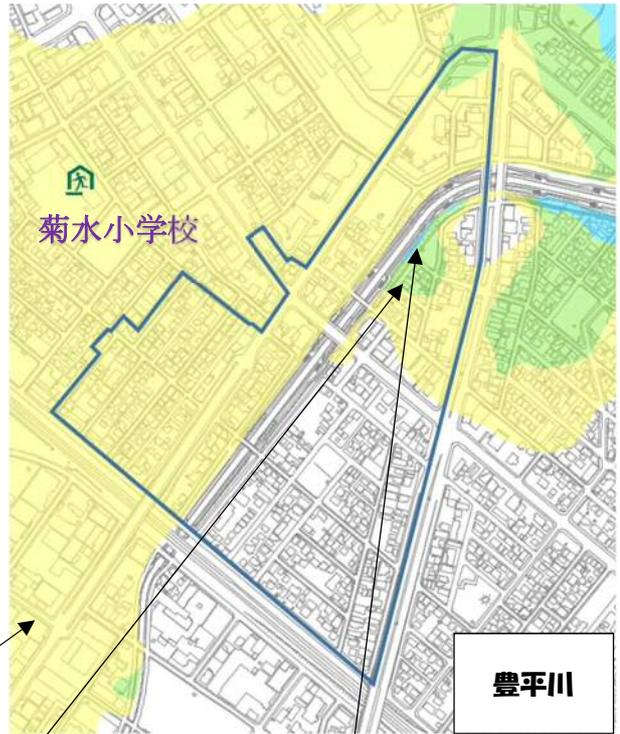
(2) 水害

■浸水想定

浸水深 1m以上2m未満

■土砂災害危険箇所

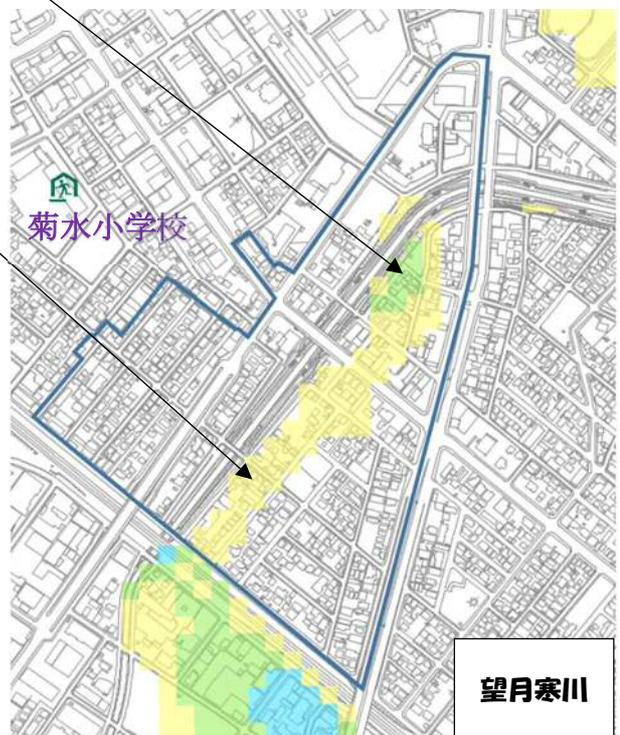
該当箇所なし



50cm 未満

50cm 以上 1m 未満

1m 以上 2m 未満



4 防災活動の内容

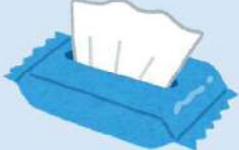
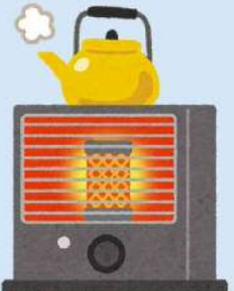
(1) 班編成と役割

町内会組織		災害時の役割	
会長	本部	本部長	応急対策活動などの指揮調整
副会長		副本部長	本部長の補佐
総務会計部長		統括部長	各種情報の集約
防火防災部長		防災部長	活動班との調整、防災機関への連絡
総務会計部 広報部	活動班	情報連絡班	被害状況の把握、安否確認
厚生部		消火班	出火防止の呼びかけ、初期消火
環境部		救出救護班	人命救助、応急手当
交通防犯部		避難誘導班	避難経路の安全確認、避難誘導
女性部		給食給水班	救援物資の配布、水の確保、炊き出し
福祉部		要配慮者支援班	要配慮者の避難誘導

(2) 備蓄品・非常持出品

北郷親栄第一町内会として推奨する備蓄品・非常持出品を「プラスワン」として推奨します。

① 備蓄品

(1) 断水の時...	プラスワン
 <p>ポータブルトイレ 給水用タンク ビニール袋 飲料水 水の要らないシャンプー</p>	 <p>ウェットシート (体拭き用)</p>
 <p>カセットコンロ 防寒着 LEDランタン 新聞紙 寝袋 カイロ 毛布 ダンボール</p>	 <p>電池式灯油ストーブ</p>
(3) 入手困難	
 <p>ペットフード 粉ミルク 缶詰・レトルト食品 ティッシュペーパー 紙おむつ</p>	 <p>食品用ラップ</p>

② 非常持出品

<p>(1) 衣</p>  <p>衣類 軍手 紙おむつ 生理用品</p>	<p>プラスワン</p>  <p>運動靴 スリッパ 眼鏡</p>
<p>(2) 食</p>  <p>缶詰・レトルト食品 粉ミルク 飲料水</p>	 <p>食品用ラップ ベビーフード 紙皿・割箸</p>
<p>(3) 住</p>  <p>マッチ・ライター ラジオ 現金・貴重品 救急セット・常備薬 お薬手帳 懐中電灯 ティッシュペーパー ウェットティッシュ</p>	 <p>洗面用品 マスク 母子健康手帳 充電器 モバイルバッテリー 電池</p>

(3) 避難所

「札幌市立菊水小学校」とします。

5 今後の活動

この計画の実効性を高めるために、見直しを行い、充実を図ります。

■ 防災マップの見直し

まち歩きなどの準備活動を実施して、防災マップを見直す。

■ 災害時要配慮者名簿の作成及び防災サポーター養成

町内会の民生委員の協力を得ながら名簿作成の承諾書の取り付けを行い、支援担当者（防災サポーター）を決定するとともに、支援担当者の防災知識の向上に向けた講習（応急手当、AED講習等）を実施する。

■ 菊水小学校避難所運営マニュアルの作成

菊の里連合町内会（菊水小学校通学区の町内会）と連携・相談しながら、避難所運営マニュアルを作成する。

■ 防災訓練の実施

町内会の事業（レクリエーション事業）に絡め、多くの方に参加してもらうように計画的に実施し、新たな担い手作りを目指す。

(参考) 計画作成の検討経過

平成29年 4月12日 モデル地区決定

平成29年 4月 第1回ワークショップ (参加者11名)

地区防災計画の概要説明、ワークショップとして、KJ法を用いて個人または地域として「平時」「災害時」にそれぞれにできること、やりたいことなどを意見として抽出し、地域の意識把握を行った。



平成29年 6月 第2回ワークショップ (参加者20名)

最寄りの指定緊急避難場所である「菊水小学校」を見学し、備蓄庫や受水槽、暗証番号キーボックスなどを確認した。第1回ワークショップの結果をポイントとしてまとめて、まずは「備蓄品」「非常持出品」について話し合い、お勧め品をグループ発表した。



平成29年 7月 第3回ワークショップ (参加者12名)

札幌市危機管理対策室危機管理指導員から、北郷親栄地区の大雨・地震発生時の被害予測について講話を実施した後、第2回ワークショップの成果として、「備蓄品」「非常持出品」について、北郷親栄第一町内会として推奨するモノを「フラスワン」としてまとめた。



平成29年 9月 第4回ワークショップ（参加者15名）

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授 鍵屋 一 氏を招いた講演会を実施し、過去の災害からの教訓を知り、改めて「自助」「共助」の重要性を認識した。



平成29年11月 北郷親栄第一町内会理事会

これまでのワークショップの成果を北郷親栄第一町内会地区防災計画(案)としてまとめ、内容を確認するとともに、防災マップの見直しを行った。



平成30年 2月 札幌市防災会議

作成：北郷親栄第一町内会

協力：札幌市危機管理対策室・白石区役所